



## 冬のスポーツに親しみ、体と心を鍛えました

1月には、1年生が聖高原スキー場でそり教室、2年生・3年生がM・ウェーブでスケート教室、4～6年生が、黒姫高原でスキー教室を行いました。雪や氷の上をすべる楽しさは冬ならではのものであり、冬のスポーツ環境に恵まれた長野県に暮らす子どもたちには、ぜひ、郷土の素晴らしさの一つとして生涯親しんでほしい、また、なかなかうまくできないことでも、あきらめずに練習・チャレンジして慣れてくると、上手にできるようになるということを感じてほしい、そんな願いを込めて取り組んでいます。

今年も、子どもたちがウィンタースポーツの楽しさや上達した充実感を感じる機会となりました。

### 《1年生 そり教室》1月25日(木)



午前中は、ブレーキをかけたり、そりの後方によって滑る感覚をつかみました。午後は、そり専用のドキドキコースにチャレンジ！午前中より坂が急になってスピードが出るので、「きゃ〜！」と歓声を上げながら、何度



もチャレンジして楽しんでいました。

### 《2・3年生 スケート教室》1月22日(月)

初めは「おとっと！」という感じであちらこちらでしりもちをついていましたが、慣れてくるとすいすいと滑ることができるようになりました。

保護者ボランティアの皆様にもご協力いただき、安全面や身支度・くつの脱ぎ履きなどいろいろな場面でサポートいただき、無事、楽しんでくることができました。ありがとうございました。



### 《4～6年生 スキー教室》1月30日(火)



絶好のスキー日和。雪を冠した山々に青空が映え、大自然の美しさを満喫しながらの教室となりました。各学年ともいくつかのグループに分かれ、インストラクターの皆様にご指導いただきながら取り組みました。疲れが出てきたり、スキーのコントロールが難しかったり…という場面もありましたが、インストラクターや仲間の励ましもあり、諦めずにチャレンジし、帰るころには皆、朝の自分の滑りよりもだいぶ上

達することができました。

## 「野球しようぜ！」～大谷選手からのプレゼント～

アメリカのメジャーリーグで MVP を獲得するなど大活躍している大谷翔平選手から、八幡小学校にもグローブが届きました！大谷選手が使っているグローブメーカーのもので、右利き用・左利き用の少年用と、一回り小さい右利きのジュニア用の3つです。

1月24日（水）朝、児童集会に続けて、子どもたちへのお披露目式をしました。はじめに校長より、大谷選手がこのグローブに込めた思いについて次のような話をしました。

（前略）…大谷選手が野球と出会ったのは、小学校3年生のころ。それから野球が楽しくて、のめりこんで、もっとこうなりたいという目標をもって、どうすればできるか考えて、練習して、少しずつできるようになって…その積み上げを続けて、メジャーリーグで実力も人気も No1 と言える選手になりました。大谷選手がグローブと一緒に送ってくれたメッセージの一部を紹介します。「この3つのグローブは学校への寄付となります。私は、このグローブが、私たちの次の世代（みんなのこと）に夢を与え、その夢をかなえようと頑張る気持ちに勇気を与えるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが私が楽しく充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを使って、野球を楽しんでもらいたいと思います。」【注：一部言葉を付け足しました】

大谷選手は、まずこのグローブで野球を楽しんでほしい、そして、このグローブを見て「自分の夢に向かって頑張るぞ！」と頑張ってほしい、という二つの思いを込めてグローブを送ってくれたんですね！皆で大事に使っていきましょう。

そして、いよいよお披露目です。全校で「オープン！」のかけ声をかけ、ステージ下でグローブにかけてあった白布をはずすと…その瞬間、「わあ～」「お～」と歓声と拍手が湧き上がりました。



続いて、6年生2名、5年生1名の代表の子どもたちが、全校の前で上手にキャッチボールをしてくれました。そして「大谷選手のように、野球が上手になれそうです」などと感想を話してくれました。

2月中には、各学級でキャッチボール体験などグローブと親しむ活動をしています。また、子どもたちが使っていないときには児童玄関右側にあるディスプレイ棚にメッセージと共に飾ってありますのでご来校されました際には、ぜひご覧ください。



## タイムカプセル 封入品 お問い合わせ

### 大勢の皆様にご来校いただきました

20年前、千曲市誕生を機に児童玄関前の花壇に設置されたタイムカプセル。以前にもお知らせしましたとおり、封入物のほとんどが劣化してしまっておりましたので、市教育委員会と協議し、昨年12月～1月中旬を公開期間とし、封入物のお問い合わせに対応してきました。この間、32名の卒業生・ご家族の皆様にご来校いただき、いくつかのものについてはお持ち帰りいただけました。また、残念ながらお持ち帰りいただけなかった皆様もいらっしゃいましたが、封入物を眺めながら、対応した本校職員と、また、同行のお仲間同士で、その頃の思い出を語り合う一時をもらっていただけたことは、ありがたいことだったと感じております。ご訪問いただいた皆様、ありがとうございました。